

臼杵山 真言宗 総本山 天光寺



神氣・神霊

霊能者・霊能力者養成講座の説明



【私たちが提供する「霊能者養成講座」を新たに開設いたしました。霊能者養成講座では神受け・神降ろしの儀式を2日間かけて行います。神受け儀式の際は清浄なる祭壇を設けて、神を招き入れます。この儀式のことを神受け・神降ろしと言います。神受けで神降ろしを行う場合、受ける者（弟子）が神氣・神霊を多少持ち合わせていなければ神受けの儀式を行うことができません。

霊能力とは

霊能力は神秘的な「力」をすべて総括して霊能力と言います。現代科学では説明不可能な未知の分野であるため、明確に定義することが難しく、正確に認識することも容易ではありません。



人は、肉体と霊体とで構成されています。肉体は五感（視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚）と彩色のビジョン、を持ち、肉体の構成は科学で立証されています。しかし霊体は霊的な感覚で、霊能力を持ち、霊視や聴覚、霊聴を霊的に感じるなどの肉体の五感に対応するものも多くあります。その働き方は異なります。人はすべて肉体と霊体の両方から成り立っており、霊能力は一部の人が持つ特殊能力ではなく、すべての人に備わった能力ということが出来ます。ただし、その発現の仕方や能力の大きさなどの差はあるが、すべての人にあると考えられています。

霊能力の種類



人の身体能力が多岐にわたり、その種類を簡単に説明しきれません。霊能力にも多くの異なる能力が含まれています。霊視や霊聴はその代表的な例です。そのほかにも、霊と交信をすることで、霊の呼び寄せ」を可能にします。さらには、前世・予知・夢伝達・千里眼または眼通力などの、透視もまた霊能力です。超能力的な**思念伝達**や**幽体離脱**もまた、霊能力によって行われるものとされています。

降神術

神・天神・自然神（竜神、山の神など）・仏神・先祖霊お告げを直接言葉として聞く方法があります。また、自分自身の霊的エネルギーを高め、インスピレーション（直観力）を高めて行きます。祈祷や呪術、祈りによって、神々を一時的に地に招き、霊媒師などに宿らせる神降ろしの術であり、「降神術・神降ろし・神受け」と呼ばれます。その形式やアプローチは、祈り・踊り・歌・お経・真言・祝詞など、さまざまですが、どの場合も自分自身または霊媒として適した人に神を招いて宿させます。こうして降ろされた神は、人の言動や物の姿、それらの語り、お告げを伝えます。



降神術・降霊術

降神術・降霊術で神を人の世界へと招いて降ろす術のことをいいますが、降神術は神または神霊に限定した術であるのに対し、降霊術はその両者を含めた上で、より広くあらゆる霊的存在を降ろす術をさします。たとえば、先祖の霊、中心霊などと呼ばい出すのもまた降霊術です。

降神術

降神術で降りた神・神霊が教えてくれる
降神術は、人には知れない情報を得るために行われます。人知を超えた英知や力を持つ存在は、人や社会の失われた過去やまだ見ぬ未来を知る為に、またはコントロールもできると考えられています。その力の一部を尋ねて参考にし、加護を得るために行うのが降神術なのです。

降神術の担い手とは

降神術は誰にでもできる術ではありません。神や神霊という強大な力を降ろすには、**神氣・神霊が多少備わっており、それなりの能力を持つ必要があります**。その能力は、生まれつき備わっていることもあります。日本では琉球地方に伝わるユタ、海外では韓国のムダン、ムソック、アメリカンネイティブのシャーマンなどが知られています。彼らは神を降ろす呪術師や祈祷師であると同時に、神の宿る霊媒師になることもあります。

降霊で神が宿る場所

神が宿る状態は、その宿主（弟子）にも大きな影響を与えます。木や鏡といった物に宿らせる場合には、その**宿主が降りる神にふさわしいかどうかが重要な選択基準となります**。神域で大切に育てられた木、神官などによって十分に清められた神具などが与えられますが、十分な素質を持たない者を宿主とすると、神が降りない、降りた神が怒ってしまい、お告げを伝えてくれない。また祭壇を設けて果物、聖水、酒、炊き立てのご飯などを用意し、清浄な祭壇を設けます。また、宿主（弟子）が人の場合には、宿主としての適切な人かを見極めることが重要です。神受けの儀式を行うには強い精神力などが必要とされます。

霊能者養成講座に関心のある方・受講されたい方は

臼杵山 真言宗 総本山 天光寺

TEL:042-519-9380 / FAX:042-519-9382 / MAIL:info@tenkouji.jp

* 講義内容

密教ヒーリング・レッスン1～30まで時空を超えて細やかなヒーリング、マントラ、シンボルの伝授神受けの儀式・神受けの意味各種真言と契約印・お経・その他